

- 2 エッセイ／“おかね”を語る  
子どもと共に見直したい「お金の力」  
シンクタンク・ソフィアバンク 副代表 藤沢久美



- 4 インタビュー／扉を開く  
「希望」  
東京大学社会科学研究所教授 玄田有史



- 9 地域の底力——境港市  
「妖怪の町」として全国から  
リピーターが集まる境港市を訪ねて  
鳥取県境港市



- 16 対談／守・破・創  
人の物差しで考える  
株式会社セブン&アイ・ホールディングス名誉会長 伊藤雅俊  
日本銀行副総裁 西村清彦

- 20 教えて！にちぎん  
「決済」ってなに？



- 24 日本銀行の歴史からみた中央銀行の役割——下  
日本銀行金融研究所企画役 鎮目雅人

- 28 日本銀行のレポートから  
「経済・物価情勢の展望」(展望レポート)——2010年4月——【基本的見解】



- 36 トピックス  
39 AIR MAIL from HA NOI  
ベトナム経済の光と影

## 表紙のことば

日本銀行青森支店は、第二次世界大戦末期の昭和二十年五月に秋田支店管轄の青森駐在員事務所として開設された。戦災復興の過程で官民挙げての強い要望を受け、本州の北の玄関口として北海道との連絡に万全を期す観点などから、翌年の昭和二十一年十一月一日、戦後一号店として支店に昇格した。駐在員事務所開設当初は、勸業銀行青森支店内に間借りしていたが、昭和二十一年六月に、戦災を受けた板柳銀行のビルを買い取り、増改築のうえ支店としての業務を開始。その後、昭和二十八年十一月に現住所に新築移転し、豪雪や厳しい気候に耐え、現在に至っている。この間、終戦直後の青森市内は、空襲により主要な建物は焼け落ち、青森駅から市内全域が見渡せるほどであったと言えらるている。そうした中であつて当支店は、その後の青森県経済のゼロからの再出発を支え、そして時代の流れや移り変わりにより金融・経済環境が大きく変化する中で、半世紀以上にわたって、青森県経済の発展とともに歩んできたと言える。

